

# 一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。

(令和5年12月定例会の会議録は準備出来次第となります)



## 一般質問とは?

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：11名

※議員名の下の( )は、所属する会派または政党を示します。



## 一般 口と歯の健康

西下 敦基 (市民ネット)



最近、口の中の環境が体全体の健康に影響するという報道を目にすることが多くなってきました。歯周病の怖いところは自然に治ることはなく、自覚症状がなく進行していき、悪化すると、最後には歯が抜け落ちてしまう。よくかめる歯を失うことは寿命にも直結する問題だが、一見関係のないような病気が歯周病によって発症あるいは進行すると考えられており、そういった病気が現在100種類以上に上ると言われている。

から示される歯周病検診マニュアルに沿って実施している。令和6年度から、国が20歳・30歳を対象に加える方針を示しており、本市でも実施できるよう準備をしている。

◎ 健診機会の増加のほか、自分の歯を残すための対策は。

◎ 提案いただいたナッジ理論を活用した啓発物の作成や、公共施設などでの情報発信、私のかかりつけ手帳の活用、市内企業との連携は有益な方法と考える。今後、歯科医師会や企業とも連携を図りながら効果的な啓発活動を行っていききたい。

◎ 歯周病検診は現在40、50、60、70歳で行われているが、近年の動向と近隣市との比較は。また、もう少し若い世代から行うことと、5歳刻みで健診を行っていくべきと考えるが見解を伺う。

◎ 令和2年度から4年度の受診状況は6%から7%台を推移している。令和3年度を見ると、菊川市の受診率が7.6%で、県平均の5.2%、近隣市町の6.7%に対して、本市はいずれも上回っている。現在実施している歯周病検診は、国

